

ガバナー月信

# GOVERNOR'S

Vol.1  
July 2015

# MONTHLY LETTER



浦和よさこいまつり (写真提供: さいたま観光国際協会)



## 国際ロータリー 第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116

エイパックスタワー東館 1階

TEL: 048-827-0022 FAX: 048-827-0011

E-mail: [ri2770@ri2770.com](mailto:ri2770@ri2770.com) URL: <http://www.ri2770.com/>



## 「世界へのプレゼントになろう」

2015-16 年度国際ロータリー会長

K.R.“ラビ”ラビンドラン



私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。

世界が良い場所となるよう、人のために何かしますか。それとも、インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心の歌を歌わずに」毎日を通しますか。

ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれることにあります。人生で本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれるのです。

友人に何を求めるかを考えると、ほとんどの人は、高潔性、信頼性、思いやり、相性を挙げるでしょう。私たちが求める友人とは、必ずしも自分と似通った人ではなく、自分にないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。私は、ロータリーがその特徴を備えていると思います。

ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。

私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつします。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のこともありません。結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

ですから、苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかける

だけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。

2015-16 年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずで。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずで。

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。

私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみ取ろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきません。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。

私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

## 「世界へのプレゼントになろう」

2015-16 年度国際ロータリー会長  
K.R.“ラビ”ラビンドラン



## ご挨拶

### 2015 - 2016 年度 国際ロータリー第 2770 地区ガバナー 井原 實 (さいたま新都心 R C)



“Be a gift to the world” (世界へのプレゼントになろう)のテーマの下に、2015-16 年度が始まります。クラブにおかれましても、新会長、新幹事さんのリードで新年度を開始なさった事とお慶び申し上げます。

K.R. ラビンドラン R I 会長は、サンディエゴで開催された国際協議会 (15/1/18-23) において、2015-16 年度の R I テーマを仏教的な思想の基に「私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断される」ので、「世界へのプレゼントになろう」と発表されました。そして、「地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与える事のできる何かをもっているはずです。私たちはロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはず」と説明されました。

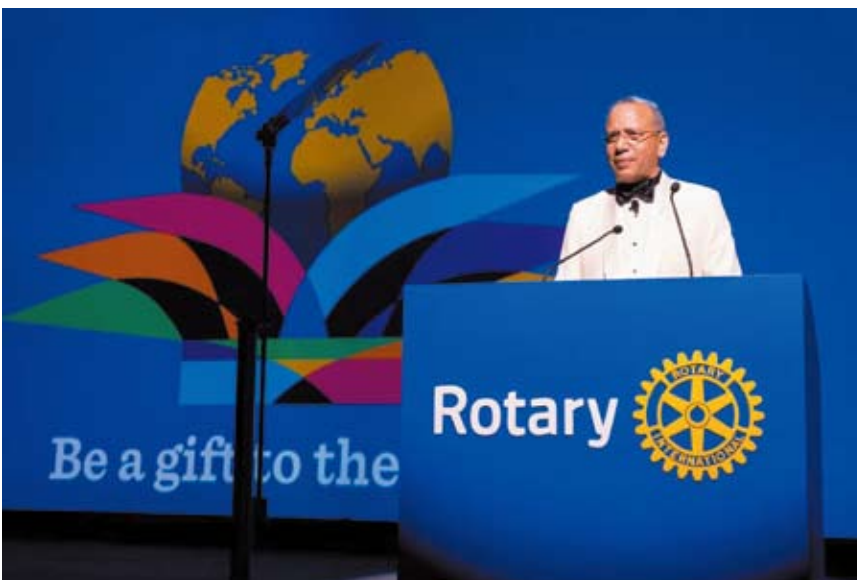
本年度の地区活動方針は「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」です。

奉仕活動を通じて人と人との関係が作られ、人づくりがなされていきます。奉仕活動に関わった人々が成長し、奉仕活動を成就させる過程で様々な問題を体験し、個人が作られていきます。

是非、従来の殻を破って新たな奉仕活動に取り組みましょう。その過程を通じて、成長したロータリアン一人ひとりは、明日のより良い世界を作る、世界へのプレゼントになるでしょう。各クラブでクラブを超える人材を育成し、地域でなくてはならないクラブになりましょう。

本年度の地区活動方針は、「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」です。ロータリーの基本を学び、My Rotary など新ロータリーに親しみ、実践して楽しみましょう。

1 年間、宜しく願い申し上げます。



## ご挨拶



### 2014 - 2015 年度 国際ロータリー第 2770 地区ガバナー 濱野 英美 (大宮シティ RC)



各クラブの会長・幹事の皆さま、ロータリアンの皆さま 2014~15 年度の 1 年間ご協力・御指導・ご支援を本当に有難う御座いました。全ての皆さまのお蔭をもちまして何とかガバナー職を恙なく終え、井原ガバナーにバトンをお渡し出来ます。感謝申し上げます。

地区ガバナーの役割は、皆さんご存知の通りですが、私は何一つなし得なかったのが全ての結果として表れております。

まず「クラブ拡大」、拡大どころか、解散、合併と逆にクラブ数が減となってしまいました。

もう一つの大きな仕事、それはクラブの活性化であります。

どうだったでしょうか？各クラブは前よりも少しでも活性化し元気なクラブになったのでしょうか。その結果は少し時間が必要かも知れません。一生懸命やったつもりですが答えが出るまでには何年か掛かるかも知れません。しかし各クラブでは、ロータリーデーを実施して頂き大いに奉仕に親睦に頑張ってもらい、地域住民にも少しはアピールできたかと思っています。

扨て、井原ガバナーが満を持しての登場です。ガバナーに成る為に生まれて来たような地区内屈指のサラブレッドです。私にないものを全て持ち合わせている井原ガバナーです。非常に楽しみです。

よく第 2770 地区は素晴らしい地区だと言われますが、まさにその通りであります、そのレベルを一段と上げて呉れるのが井原ガバナーだと思います。

これからの我が地区の進むべき「道しるべ」のために我々の先頭に立って引っ張って行って下さい。

「ロータリーは人づくり そして奉仕」から「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」になりますが、言っていることはほぼ同じだと認識しています。

会員増強にロータリー財団への支援と一緒に頑張らしましょう。そして素晴らしい地区づくりの為に、上手にバトンタッチして行きましょう。裏方に徹して井原ガバナーを全面的に支援致します。

### 井原ガバナーに栄光あれ





## ご挨拶

### 国際ロータリー第 2770 地区 2015 - 2016 年度地区研修リーダー 大塚 信郎 (上尾 R C)



#### 井原實ガバナースタートにあたって

RID2770 地区ロータリアンの皆様、いよいよ井原實ガバナー年度のスタートです。井原實氏は、一昨年ガバナーにノミネートされてから、持ち前のバイタリティーと語学力を駆使して GETS・国際協議会等で研鑽をつままれてきました。そして、地区チームセミナー・PETS・地区研修協議会を通して、K.R. ラビンドラン R I 会長方針と地区運営方針を解りやすく私たちに示し、満を持してのスタートであります。R I 会長テーマ：世界へのプレゼントになろう (Be a gift to the world) 本年度の地区テーマ：ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくりを十二分に実践して頂けると確信しています。

私は、井原ガバナーの門出を心からお祝い申し上げるとともに、ガバナーより要請された研修リーダーとして、地区並びにクラブの発展に微力ながら責務を全うして行く所存でありますので、宜しくお願い致します。

さて、本年度の国際協議会の講演集でちょっと目に止まった記事がありましたので御披露いたします。

「最近、フレッシュな視点が軍に革新をもたらすきっかけとなった、ある事例を読みました。新米兵たちの基礎訓練で、教官が大砲の使い方について説明しているときの事です。

「弾を込めた後、8秒数えてから発射するように」と教官は言いました。

教官が先に進もうとしたとき、新兵の一人が、軍隊では通常タブーとされている行動に出ました。手を挙げて質問したのです。「教官、なぜ8秒待たなければならないんですか？」

明らかに面食らった教官は、それには答えずに次の説明を続けました。しかし、その質問が頭から

離れず、数日後、「8秒のルール」について同僚に聞いてみました。軍事史マニアだった同僚が調査をした結果、「8秒のルール」の由来が明らかになりました。昔は馬を使って前線に大砲を運んでおり、発射音で馬が怯えないよう大砲から遠ざけるのに必要な時間が8秒だったのです。ここ数十年、馬は使っていないにもかかわらず、ルールだけが残ったというわけです。おかしな話だと思われるかもしれませんが、実は私たちはロータリーでそれと同じことをしています。50年前や5年前に目的があって定められたルールや手続きや伝統が、もはやその目的がなくなったにもかかわらず、現在も使い続けられているのです。今後、新会員がクラブに入会し、悪気もなく次のように質問してくるでしょう：

- ・例会の開始時になぜ鐘を鳴らすのか？
- ・なぜ毎回の例会で卓話があるのか？
- ・なぜクラブ会長はたすきをかけているのか？
- ・アフターファイブのコーヒーやワインで簡単に済ませられるのに、なぜわざわざ食事をしながら例会をするのか？

もちろん、これらの伝統自体が悪いわけではありません。しかし同様に、それが必勝法だと思いつくにはまってはなりません。結局、成功したと思った次の瞬間には、過去のものになってしまうのです。》

これを読んで皆様はどんな感想を持たれるでしょうか？

我が地区もクラブ創立30年・40年・50年の数が増えています。色々な角度からクラブ運営のあり方を絶えず検討していくことが必要と思われるます。

「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」



第1グループ  
ガバナー補佐  
遠藤 正明  
(浦和南RC)

本年度第1グループガバナー補佐に浦和南ロータリークラブの推薦をいただき、井原 實ガバナーから委嘱されました遠藤正明です。

グループ内の会長・幹事そして会員の皆様のご支援を賜り、井原ガバナーとのパイプ役として一年間務めさせていただきます。

本年度井原ガバナーは、「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」と地区活動方針を掲げています。

自分のクラブの事で恐縮ですが、我クラブは会員減少に歯止めがかからず、クラブの再建が急務です

まさしく、人をつくり、自分をつくる事に最大限努力しながら我クラブの存続を願う一人として、新生浦和南クラブを立派につくる事が出来たら、何物にも代えがたい事になるかと思います。

しかしながら、ガバナー補佐を拜命した以上は、今年度の地区目標の

1. ポリオ撲滅への支援と財団目標の達成
2. 会員増強
3. 奉仕活動の支援（国際奉仕・青少年奉仕）
4. R I 会長賞へのチャレンジ
5. R I 戦略計画と中核的価値観の理解と実践等々

井原ガバナーと共に第1グループ内会員の御協力を頂きながら、今年度R I 会長テーマの「世界へのプレゼントになろう」を実現したいです。

又、ガバナー補佐の責務の一つであるIMは、例年通り第2グループと合同で行う予定です。

それぞれの実行委員長と綿密な協議の上、大成功させる所存です。

井原ガバナー年度が地区内ロータリアン全ての有意義な一年となる様御祈念致すと共に、第1グループの会員の皆様のご指導を重ねてお願い申し上げます。



第2グループ  
ガバナー補佐  
田中 豊  
(浦和西RC)

2015～16年度のガバナー補佐をお受けすることになり、明るく、楽しく、分かりやすいロータリーを目指して1年間務めさせていただきます。

“Be a gift to the world” — 「世界へのプレゼントになろう」

K. R. ラビンドランR I 会長は、15～16年度のR I のテーマをこのように示しました。

地区活動方針として①感染症のポリオ撲滅②会員増強③奉仕活動の支援④R I 会長賞への挑戦⑤R I 戦略計画と中核的価値観の理解と実践。

奉仕活動や人と人との関係を通じて培った経験によって、個人がつくられていきます。こうして成長したロータリアンが明日のより良き世界をつくり、世界のプレゼントになると確信しています。

また地区運営方針としまして「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」というスローガンを掲げました。新しいロータリー、ロータリーの基礎を学び、実践して楽しむということです。具体的にはMy Rotary、ロータリークラブ・セントラルの新ツールを使用したり、ボイスとブランドリソースセンターなど新しいロゴやデザインの使用。ロータリーの基本である奉仕と親睦の再確認。認知症や認知症サポーターであるオレンジリングといった新たな地域社会奉仕を実践することが挙げられます。

ガバナー補佐の主な役割は、各クラブを定期的に訪問し、各クラブの目標達成度の進捗情報をガバナーに伝え、地区とクラブを円滑に進め、地区とのパイプ役、ガバナー公式訪問に際しては、クラブ協議会に出席し、公式訪問を成功させることを目的といたします。

本年度よりロータリー特別月間の変更があり、各クラブ運営がスムーズに行えるよう協力にも尽力してまいります。

最後になりますが、My Rotary、ロータリークラブ・セントラルが多くの方に理解していただくようPRするとともに、地区とクラブのパイプ役、ガバナーのメッセンジャーとして円滑に運営したいと思います。

皆様のご協力とご指導をお願い申し上げます。



第3グループ  
ガバナー補佐  
井上 久雄  
(さいたま樺RC)

今年度第3グループガバナー補佐を務める事になりました。一年間よろしくお願い致します。ガバナー補佐の主な役割は、グループ内クラブが効果的に運営されるようサポートにすることによって、ガバナーを補佐することです。そのためにはグループ内の各クラブとガバナーのパイプ役として、ガバナーの方針、重点目標の取り組みへのクラブ支援、クラブの目標に向けた進捗状況、意見をガバナーに伝え、お互いに良い影響を与えられ

るようパイプ役としての務めを果していきたいと思えます。

2013年12月の総務省の調査によると、インターネットの普及率は82.8%でこの割合は若い人ほど高く、今や私たちの生活になくてはならないものとなっています。2015-16年度地区運営方針にMy Rotary ロータリークラブ・セントラルの新ツールの活用が謳ってあります。My Rotary はロータリーの活動や地区、クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なツールです。また、ロータリークラブ・セントラルに入力することにより、各クラブの目標への進捗状況を確認でき、達成への支援にも繋がります。このように新ツールはクラブ運営にとって不可欠なものとなっています。新ツールが活かされよう、先ずは歩を進めたいと思えます。

これからの一年間、第3グループ内6クラブが元気なクラブになるようサポートしてまいります。各クラブの会長、幹事を始めとする会員の皆様のご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



第4グループ  
ガバナー補佐  
遊馬 久治  
(大宮北東RC)

第4グループガバナー補佐を拝命致しました大宮北東ロータリークラブ所属の遊馬久治です。この一年間は会長・幹事の皆様をはじめ会員の皆様と共に、ロータリーを通して有意義な、楽しめる活動を目指していきたいと思えます。

2015～2016年度 K.R. “ラビ”ラビンドラン R I 会長は、R I テーマを、“Be a gift to the world”(世界へのプレゼントになろう)と発表されました。

そして、「私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されます。私たちは才能、知識、能力、努力、そし

て献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはず。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こし、本物の何かを残すことができるはず。」と述べられています。

ロータリーを通じて、私たちの資質を更に引出し、人生で生かす道を見つけましょう。

そして、井原實ガバナーの地区活動方針、「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」と地区運営方針の「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」のもと、効果的なクラブづくり、人づくり、自分づくりを皆様と共に目指します。

R I 会長並びに井原實ガバナーの意を皆様に伝達、推進し、会長・幹事を中心にクラブ会員の皆様が丸となって、地区目標、クラブ目標を達成され、充実したロータリー活動を、共に実践して参りたいと思えます。

たった一年間しかありません。この与えられた時間を有効に活用し、それぞれが自分自身のための実りあるロータリー活動を楽しみましょう。皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。



第5グループ  
ガバナー補佐  
大國 博  
(上尾北R C)

2015～2016年度2770地区井原實ガバナーのもとで第5グループのガバナー補佐を拝命いたしました、上尾北ロータリークラブの大國博です。

私はクラブにおいて数少ないチャーターメンバーということでクラブ内の序列として輩出されましたので、浅学非才の身であることは十分認識しておりますが、お受けした以上は一生懸命責務を全うしたいと思います。

さて、今年度のK. R. ラビンドランR I会長はテーマとして「世界へのプレゼントになろう」ということで自分の存在の証をロータリーに残すのではなく、ロータリーの活動を一番に優先して、

ロータリーの存在の証を世界に残すためにこの一年を捧げてくださると発言されております。その会議に出席された井原實ガバナーは地区活動方針として「ロータリーを通じて、人づくり、自分づくり」と運営方針として「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」と言うことでロータリーの基本を学び、時代に合った新しいロータリーを学びそして新しい地域社会への奉仕を実践して楽しもうと提案されております。

これらを受けて各クラブは今年度何をしなければならぬか、十分考えてクラブ運営方針の中に生かして行かなければならないと思います。会員増強と維持や、人道的奉仕活動の推進、オンラインツールの利用促進、青少年奉仕活動の活性化などひとつひとつが困難な課題としてあります、それぞれの目標実現のためにガバナーと各クラブの会長・幹事・役員の皆様の仲立ちをするのが補佐の役目と考えております。また、2017～2018年度には第5グループからガバナーの輩出が決定しており、第5グループ内クラブ、クラブ会員の相互の融和と更なる向上発展を目指して補佐の責務を果たしてまいりますので、会員各位の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



第6グループ  
ガバナー補佐  
早川 芳夫  
(春日部イブニングR C)

2015-16年度 第6グループガバナー補佐を仰せつかりました、春日部イブニングR C所属の早川芳夫です。

R I会長は、“Be a gift to the world”(世界への

プレゼントになろう)をR Iテーマとして、井原ガバナーは「ロータリーは、奉仕を通じて人づくり、自分づくり」を活動方針として発表されました。

具体的には、ポリオ撲滅、会員増強、新しいツール(マイロータリー、ロータリークラブセントラル)への登録促進、地域社会への実践(認知症、認知症サポーター、オレンジリング)と示されています。

私たちは、ガバナー方針に沿って、それらを踏まえまして一人一人が、クラブ行事や奉仕活動、地区活動(RLI)に積極的に参加することを、第6グループでは進めてまいりたいと思います。

ガバナーはじめ、地区役員、そして第6グループの会員の皆様、今後のご指導ご協力を心からお願い申し上げます、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



第7グループ  
ガバナー補佐  
近藤 敬男  
(蓮田R C)

井原 實年度のガバナー補佐を拝命致しました。

私はもとより微力ではありますが、ガバナー補佐の任務であるクラブと地区を結びつける大切な役割を全うしていきたいと思っております。

ガバナー、ガバナー補佐、会長・幹事と適切なコミュニケーションを図り、グループ・クラブの効果的な運営がされるようサポートをはじめ、地区活動方針「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」、地区運営方針「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」を推進し、先ずクラブ活性化、そして増強につながることを願っています。

どうぞ、ご支援ご協力を賜りますよう一年間宜しくお願い申し上げます。





第8グループ  
ガバナー補佐  
中島 美三郎  
(越谷RC)

2015～2016年度、第8グループガバナー補佐の中島美三郎でございます。

浅学非才、微力ではありますが、一年間よろし

くお願い申し上げます。

RIテーマ「世界へのプレゼントになろう」、井原實ガバナーの地区活動方針であります「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」、地区運営方針「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」の方針の元に、各クラブの活動が効果的に運営されるよう、井原ガバナーの使者として、地区の情報が的確に伝達出来ますように努めてまいります。

そして、2016年4月は国際ロータリー第2770地区、地区研修協議会が越谷RCのホストで開催されます。浅水ガバナーエレクト年度の準備がよいよ始まりますので、この点も第8グループの5クラブが団結をして応援してまいりたいと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力を切にお願い申し上げます。



第9グループ  
ガバナー補佐  
百瀬 皓  
(草加中央RC)

2015～16年度K・R・ラビンドランRI会長は、RIのテーマとして「世界へのプレゼントになろう」と掲げました。ラビンドラン会長は「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心の歌を歌わずに毎日を過ごすのか。」ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれ

ることにあります、とされています。

このことは奉仕のために行動を始めようと言っていると感じます。皆様もロータリアンの誇りをもって、地域社会、国際社会等多くの奉仕活動に邁進する一年にしましょう。

井原實ガバナーは、地区方針として「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり」を2015-16年度の地区活動方針にしました。そして、地区運営方針を「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」です。各クラブの奉仕活動により、人と人との繋がりから生まれるものが自分作りではないでしょうか。そしてその奉仕活動が多くの人々のためになり、多くの人々の人間作りになることでしょう。

奉仕活動を楽しみながら、人づくり、自分づくりのために行動し、実践、実行しましょう。それが世界へのプレゼントとなることでしょう。



第10グループ  
ガバナー補佐  
大塚 節子  
(松伏RC)

K・RラビンドランRI会長は国際協議会において、RIテーマを『世界へのプレゼントになろう』と発表されました。私はRI会長のこの言葉を受けた時に、自分のいる場所や立場、経験それらを含め今「何」ができるのだろうか？と考えました。

まずその中で、私達にできることは『目の前に

ある活動』『課題』に対して全力で取り組んでいく事ではないかと考えました。実にこの『当たり前』の事が一番大事なのではないかとと思うからです。

ロータリーは、一人の会員がそれぞれのクラブの仲間と繋がり、その先に第10グループ・国際ロータリー2770地区と繋がり、そして世界のロータリーへと繋がっていきます。

この繋がりの出発地点は自分自身の想い、それを実現させようとする強い意志ではないかと思っています。

想いを語り、形にしていく事。この言葉の中には数えきれないほどの過程があり仲間と協力していかなければ成し得られないことばかりです。

想いが繋がっていく事で、今は会ったこともない世界のロータリアンと。そして直接会って手を差し伸べる事が出来ない子供たちへと繋がっていくものだと思えます。

そして、私たちが諸先輩方に教えて頂いたように、この後に続く次世代の人達にもこの想いを繋いでいく事が大事なのだと思います。

この『繋がり的一端を担う』ことが出来ることに感謝し、まだまだ未熟な私ですが、皆様から色々

な事を教えて頂き、微力ながら井原ガバナーを支え、自分自身も成長していきたいと思っています。ガバナー補佐として1年間笑顔を忘れず、明るく楽しいロータリー活動ができるよう頑張りたいと思います。

どうぞ皆様方のご協力よろしくお願い致します。



第11グループ  
ガバナー補佐  
峯 勉  
(川口シティ  
鳩ヶ谷R C)

2015年～2016年度第11グループガバナー補佐を引き受けることになりました、峯 勉です。

第11グループの各R C会員の皆様どうか宜しくお願い致します。

ガバナー補佐とは何か。字句通りだと思います。ガバナーの言わんとしている旨をしっかりと理解し、各R Cそして会員に伝え、実践してもらうことだと思います。又、逆にR Cそして会員の考えも理解し、ガバナーに伝えていくことだと思います。ガバナー補佐は地区と各々のR Cを繋ぐメッセンジャー的役割だと思います。そして、地区と各R Cを良好な関係に築いていかせるのが使命だと思います。

今年度の地区活動方針は、「ロータリーは奉仕を通じて人づくり、自分づくり」です。奉仕なくしては、R Cではありませんし、そして、奉仕を通じて知人を増し、又、自分が成長していかなばなりません。「ロータリーの目的」に記してある通りだと思います。

又、地区運営方針は「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」です。ロータリーの基本は「奉仕」と「親睦」です。そのどちらが欠けてもロータリークラブは成り立ちません。「奉仕」には実際問題としてお金がかかります。それが現実です。その為にも、ロータリー財団と米山記念奨学の理解が必要だと思います。そして、理解した上で寄付をお願いしたいと考えています。又、「親睦」と言っても、クラブ内がぎくしゃくしては、「親睦」など程遠いものです。どうか会員の皆様一人一人が楽しい例会だったと思うような例会を構築して行って頂きたいと思います。

今現在、増強が一番重要だと言われております。前記の様なR.C.でなければ増強も大変難しいと思います。どちらにしても何をやるにも、何を楽しむにしても各々のロータリアンそして、R.C.が主体です。

どうかこの一年間、御指導の程宜しくお願い致します。



第12グループ  
ガバナー補佐  
奥墨 敏郎  
(戸田イブニング  
R C)

井原實ガバナー年度が始まりました。ガバナー補佐として微力乍も参加できますことはとても光栄に存じます。ガバナー補佐としての責務を背負い緊張しておりますが、如何にして進めて行けばガバナーの意を汲み、目標の実現にお手伝い出来るのかを絶えず考え実行してまいります。

12グループには9クラブあります。各クラブの会長幹事さんは、各々に高い目標を掲げその達成に向けてご努力されています。私にもその達成

へのお手伝いをさせて戴ければと願っております。

9クラブそれぞれの良い所を刺激し合って、新しい爽やかな風を吹かしましょう。一年後には更に成長なされていることと思いますが、どんな姿を見せて頂けるのかとても楽しみです。

会員増強が今年度の大きな目標の一つです。入会を勧める時に、ロータリーに入ると何かいい事ありますか？と訊ねられる事が有ると思います。そんな時こそ私は井原ガバナーの地区活動方針の一文を伝えます。「"ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくり"奉仕活動を通じて、また人と人との関係を通じて自分が作られていくものだと思います。奉仕活動に関わった人々が成長し、奉仕活動を成就させる過程で様々な問題を体験することで個人が作られて行きます。」そしてどうぞロータリーと一緒に成長していきませんかと添えます。

忍耐、寛容、謙虚の教えを胸に入れ、精一杯補佐として努めさせて頂きますので、どうぞ皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

## ご挨拶

私はちょうど10年前、40歳の時に起業した。

会社員のころのお客様に挨拶に行くと、契約と同時にロータリークラブに誘われた。まだ1年目で、会費が払えるか不安だったが、無下には断れない。「一度、例会に遊びに来なさい。」と言われ、雪がちらつく中、例会場へ向かった。

「参加してからヤンワリとお断りしよう…。」スリッパに注意しながら、例会場に到着した。来賓の席に案内され、司会の方が「入会予定者の木戸さんです!」と紹介されると同時に大きな拍手が起こり、有無を言わず私の入会が決まった。当時のクラブの40歳代は、私ともう一人だけだった。

クラブの諸先輩方には厳しく、厳しく、そして温かく育てていただいた。これは仕事でも大いに役立っている。

幹事を2回務め、3年前に会長を拝命した。会員は21名に減少していた。20名を切ったらどうなるか…?クラブの存続が難しくなり、間違いなく衰退の方向に向かって行くのは目に見えていた。

## 会員増強維持部門委員長 木戸 良樹

「とにかく会員を30人まで戻そう…。」増強目標は10名とした。

自分を育ててくれたクラブを衰退させるわけにはいかない。いつの間にか、クラブが大好きになっている自分がいた。

2年経ち、会員は31名になった。

会長の翌年度は、他のクラブがどのような方法と手段を用いて増強させているかを知りたく、地区の会員増強維持部門に自ら手を挙げてお願いした。そして3年目、部門委員長の打診がきた。クラブのみならず、地区、そしてロータリーに対する恩返しと思い、大役を引き受けた。

各クラブは様々な方法で増強に取り組んでいる。少しずつだが、増強に成功しているクラブの共通点が見えてきた。自クラブの増強もいまだ道半ばだが、皆さんと一緒に増強の打開点を探っていきたい。

各クラブの繁栄と地区会員数2770名に向かって少しでもお役に立てるように…。

## 2015～16年度 国際ロータリー第2770地区 地区大会ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会のご案内

いよいよ井原實ガバナー年度が始まります！  
新たな一年を祈念して、地区大会ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会を開催します。

渡邊和良大会委員長を中心に、ホストクラブとなる浦和北ロータリークラブで大会会場を検討しましたが、昨年、台風のために止む無く中止となった「プレステージカントリークラブ」を再び選定いたしました。また、開催日については、過去10年間の10月の天候を克明に調査しながら、最適と予想される日程を選んでおります。大会の成功を目指して、皆様で楽しみながらご参加を頂ければ幸いに存じます。



大会実行委員長 戸高 康之

◎開催日 平成27年10月19日(月)  
<雨天決行>

◎開催コース プレステージカントリークラブ  
東・西コース(36ホール貸切)  
栃木県栃木市梓町455-1/  
栃木ICより5km / Tel: 0282-31-1111

◎参加人数 74クラブ(1クラブ4名)  
パストガバナー及び地区役員を含む約  
340名

◎その他

- ・表彰式を行いますので、最終組が終わるまでお残りください。お待ち頂いている間に、軽食のご用意をいたします。
- ・プロゴルファーによるレッスンもご用意しております。

(ロータリーの心と実践改訂版)

◎「職業奉仕への私の思い、ロータリーは人づくり」  
渡辺好政 2010 28p

◎「『奉仕の理念』が世界を救う  
～古典的職業奉仕論を超えて～」本田博己 2014 24p

◎「職業奉仕は I Serve」新藤信之 2014 [12p]

◎「ロータリーの歴史年表(改訂)」諏訪昭登 2015 8p

◎「ロータリーの歴史に学ぶ」諏訪昭登 2015 6p

◎「国際ロータリー認証状から見た日本戦前史」前岡志郎  
2015 70p

[上記申込先:ロータリー文庫]

◎「読みやすい手続要覧」坂本俊雄 2014 62p

[申込先:(有)レオパオラ FAX(042)622-7271]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 文庫通信(333号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、

文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

◎「ロータリーの目的と人生哲学」上野操 2015 2p

(D.2580 武蔵野分区インターシティ・ミーティング報告書)

◎「日本の職業奉仕観の底流にある思考 ロータリアン二宮尊徳翁」塚原房樹 2015 1p (D.2510 月信)

◎「職業奉仕」D.2660 2015 7p

# 2015年 公式訪問日程表

(2015/5/11 現在)

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火			1 岩槻東			1
水	1		2 川口むさし野			2
木	2		3 栗橋	1		3
金	3		4	2		4
土	4	1	5	3		5
日	5	2	6	4	1	6
月	6	3	7	5 戸田	2	7 さいたま新都心
火	7	4 浦和北東	8 大宮南 さいたま櫛	6 鴻巣	3	8
水	8 大宮シティ	5 三郷ウエンスデー 八潮イブニング	9 幸手	7 大宮	4 川口北	9
木	9 戸田西 戸田イブニング	6 越谷東	10 川口	8	5 さいたま中央	10
金	10	7	11 越谷南	9	6	11
土	11	8	12	10	7	12
日	12	9	13	11	8	13
月	13	10	14	12	9 埼玉ゆず	14
火	14 蕨	11	15 浦和西	13 大宮北東	10 川口北東 大宮中央	15
水	15 浦和北	12	16 桶川	14 川口南	11 蓮田	16
木	16 久喜菖蒲	13	17 浦和東	15 上尾 桶川イブニング	12	17
金	17	14	18 上尾北	16	13	18
土	18	15	19 北本	17	14 地区大会	19
日	19	16	20	18	15 地区大会	20
月	20	17 川口中央	21	19 地区大会記念 ゴルフ大会	16	21
火	21 越谷	18 川口東	22	20 越谷中 三郷中央	17	22
水	22 春日部南	19 浦和ダイヤモンド	23	21 大宮東 吉川	18 川口 鳩ヶ谷武南	23
木	23 春日部西	20	24	22 岩槻	19 大宮南東	24
金	24	21 三郷	25	23	20	25
土	25	22	26 さいたま大空	24	21	26
日	26	23	27	25	22	27
月	27	24 大宮西	28 浦和南	26	23	28
火	28 川口シティ鳩ヶ谷	25 川口西	29 春日部 春日部イブニング	27 八潮 松伏	24 大宮北 幸手中央	29
水	29 庄和	26 鴻巣水曜	30 越谷北	28 上尾西	25	30
木	30 八潮みらい 浦和中	27 鳩ヶ谷		29 草加中央/草加松原	26 杉戸	31
金	31	28 浦和		30	27	
土		29 川口モーニング		31	28	
日		30			29	
月		31			30	

上段：昼点鐘 下段：夜点鐘

「/」：合同クラブ

※予定は変更になる場合がございます。